

2024年 規則留意点

2024年4月6日
千葉県少年野球連盟

本資料は、2024年の野球規則、競技者必携及び高野連の規則変更に伴い、重要と思われる案件をまとめたものです。

1. グラブの取り扱いについて

投手のグローブは捕球面・背面・ウェブは2色まで可。

本件、2024年版競技者必携(63頁)発刊後、「全軟野連発第74-1号」(令和6年2月29日)により規制緩和となりました。

2. 投手のところへ行く制限

監督またはコーチ等が1イニングに2回投手の基へ行っても、投手の交代とはならず。

(2024版競技者必携58頁、「野球規則(5.10ℓ(2))は適用しない」)

3. 投手の2段モーションについて

高野連では2024年から、走者がいないときのいわゆる「2段モーション」に対してペナルティを課すことがなくなりました。

野球規則【5.07a(1)および(2)】の通りとなります。

千葉県少年野球連盟も上記の通りの運用とします。

4. 内野手(捕手を含む)が投手のところへ行く回数について

2024年から高野連では試合のスピードアップを図ることを目的として、

「内野手(捕手を含む)が投手のところへ行く回数は、1イニングに1回とする」となりました。

千葉県少年野球連盟も上記の通りの運用とします。

尚、従来の守備タイムの回数制限(6イニングで3回)は変わりません。

5. ヤジの禁止

(1)野球にヤジは必要ありません。(2024年版競技者必携 12頁)

(2)「選手や審判員に対する聞き苦しいヤジは厳禁する」(2023版競技者必携)

⇒「選手や審判員に対する全てのヤジを禁止する」(2024版競技者必携 56頁2項)

以上